

板橋区基本構想審議会 要点記録

会議名	第9回板橋区基本構想審議会
開催日時	令和7年3月28日（金）午後1時から午後2時15分まで
開催場所	板橋区役所 11階 第一委員会室
出席者	<p>〔委員〕28人（敬称略） 内藤二郎（会長）、岸井隆幸（会長代理）、大塚隆志、許俊銳、佐藤知正、梶田博文、野澤祥子、相田義正、榎本藤二、加藤勝一、小林英子、齋藤英治、齊藤得彌、関口雅美樹、高田修一、坂東愛子、福司慶子、木村縁理、辻内孝昌、濱崎希歩、田中やすのり、しば佳代子、おなだか勝、小林おとみ、佐々木としたか、鈴木こうすけ、尾科善彦、長沼豊（欠席：3人）</p> <p>〔幹事〕15人 篠田政策経営部長、田中総務部長、三浦危機管理部長、平岩区民文化部長、家田産業経済部長、水野健康生きがい部長、鈴木保健所長、丸山福祉部長、関子ども家庭部長、岩田資源環境部長、内池都市整備部長、田島まちづくり推進室長、宮津土木部長、林教育委員会事務局次長、雨谷地域教育力担当部長</p> <p>〔事務局〕小島政策企画課長、遠藤経営改革推進課長、大森財政課長</p>
会議の公開 (傍聴)	公開
傍聴者数	0人
議題	1 中間答申（案）について 2 その他
配付資料	1 板橋区基本構想審議会工程表 2-1 基本構想審議会中間答申（案） 2-2 基本構想審議会中間答申（案）【概要版】
政策企画課長 会長	<p>開会</p> <p>ただいまから第9回板橋区基本構想審議会を始めさせていただく。初めに会長から一言ごあいさつを頂戴する。</p> <p>本日は、後半区長にお越しいただき、中間答申をお渡しする。前半で皆さんと最終確認をするので、よろしくお願いする。</p> <p>（政策企画課長から、資料の確認。以降、会長進行）</p> <p>1 中間答申（案）について</p> <p>変更点を中心に説明をお願いする。</p> <p>（政策企画課長から、資料2-1、2-2について説明）</p> <p>起草委員会にて細かい表現まで確認いただいている。変更点がわかる仕様にしているが、読んで違和感がないかご確認いただきたい。大きな変更点としては、全体の構成である。まず、Iとして、諮問事項や基本構想の改定の背景を整理した上で、内</p>

	<p>容に入っていく形となり、全体として見やすく、構成がわかりやすくなった。このように構成を変えることで、より、それぞれの部分が明確に整理される。</p> <p>将来像については、前回の審議会にて、いろいろとご意見をいただいたが、区長のめざす方針も考慮し、「未来をひらく」という表現にすることにした。</p> <p>その他は、文言や表現の修正、また、重複した項目を整理し直したほか、全体にわたっている内容を抜き出して一項目とするなど、わかりやすく変更していただいたので、ご確認いただきたい。</p> <p>まずは、12 ページまでについて、ご意見があれば伺う。</p>
委員	<p>将来像の落としどころが素晴らしく感動した。起草委員の皆さんには感謝する。</p> <p>将来像の記載の仕方について、「～予測困難な時代に」から始まるサブフレーズも将来像として載せるのであれば、「未来をひらく緑と文化のかがやくまち」の上に掲載するか、下にするか検討した方が良いと感じた。</p> <p>今回の審議会にて、変更点含めてご審議いただく上で、わかりやすくするため付記したが、最終的には掲載しない予定である。</p>
政策企画課長	<p>この中間答申案に賛成する。</p> <p>素晴らしい構想ができたので、今日、区長に答申するにあたり、これから 10 年間、スピード感を持って取り組むこと。また、ぜひ区民参加や区民協働を取り入れて進めるよう伝えていただきたい。</p>
委員	<p>区長に中間答申をお渡しするときに、私が一言お話をします。スピード感を持って区全体として取り組んでほしいというのを私も考えていましたが、非常に重要なことであるので、最終答申の際に、強く区長にお伝えしたいと考えています。区民参加については、今日お伝えするという整理で、ご理解いただきたい。</p> <p>では、引き続き、13 ページ以降についてお気づきの点や確認事項があれば伺う。</p>
会長	<p>13 ページの図は、重要なことが書かれているので、大きくできると良い。</p> <p>32 ページの資料についても、ページを有効に使い、大きくできないか。誰もが見られる図であって欲しい。</p>
委員	<p>13 ページの図については、可能な限り視認性が上がるよう工夫する。資料編についても、向きを変え、見やすいよう最終的に調整させていただきます。</p> <p>13 ページの図にも、14 ページの「9つのめざす姿」のタイトルにある () 内の分野名を記載した方が見やすい。最初に分野を示すことで、全体を掴みやすくなると思う。</p>
政策企画課長	<p>第 1 回起草委員会において、今後の展開として組織横断的にという視点を強く打ち出す中、「可能な限り縦割りという印象を与えないように。」というご意見をいただき、あえて「分野」などの表現を使用しないよう調整した。14 ページの「9つのめざす姿」については、文言のみではわかりにくいため、追記している。</p>
委員	<p>統合的に進めることは重要だが、政策と見やすさ、理解のしやすさは異なると思う。ただ、どのようにするとわかりやすいと感じるかは人によって異なるので、皆さまの</p>

	ご意見も踏まえて決めていただきたい。
会長	この点について、意見があれば伺う。他になければ、中間答申としては、このまま掲載し、今後、最終答申に向けて、区民と共有するにあたり、わかりやすさを確認する際に、再度検討する余地を残すこととしたい。
委員	14ページの「9つのめざす姿」について、全ての項目がそれぞれ、青い枠で囲まれているが、くどいと感じる。枠の上に書いてあることの方が重要ではないか。「概ね10年後の「めざす姿」は取り除き、例えば「学びを通じて成長と幸せを実感できるまち」あるいは「教育」を見出しとしてはどうか。
委員	同じように感じていた。前頁の図では、9つの色が異なっている。図の色に合わせると、どの項目の説明がどれかわかりやすいのではないか。
政策企画課長	わかりやすいことが重要であるので、一度作業し、どう見えるか確認したい。
会長	最終答申に向けて、改めて検討することとしたい。
委員	本日の中間答申については、このままですることについては賛成しているが、13ページの図について、一般の方々に向けてわかりやすさを意図してデザインした部分と、構成を説明している青い四角の部分、2つの要素が入っている。一般の方が見る時は、青い四角があるとわかりにくいく思う。事務局には、改めて検討いただきたい。
会長	パブリックコメントを募集する時は、資料を修正するのか、このまま提示するのか。
政策企画課長	基本的には、この資料を議会に報告し、パブリックコメントでも意見を募ることとなる。
会長	パブリックコメントではこのままとなるが、ただいまの意見は、事務局において記録し、最終的に各方面へ示す段階で、どういうものが良いのか改めて検討させていただく。
委員	青い四角の中は、基本理念や将来像の説明であるが、全て同じ色なので、同じレベル感に見えてしまう。
政策企画課長	必要に応じて色を変えるなど、表現を工夫する余地はある。
会長	今後の検討課題として、事務局にて記録しておいて欲しい。
政策企画課長	イメージ図に関しても、パブリックコメントなどでご意見を頂戴すると思う。そういうしたものも踏まえて、最終答申に向けて調整をしたい。
委員	この図には、基本理念・将来像・将来像に繋がる「9つのめざす姿」の3つ項目がある。私も青い四角はなくてもいいと思うが、四角をなくしつつも、将来像という表記を太字にするなど、どの部分が何を指しているか、わかりやすい図になればと思う。そうすることで、必然的に図を大きくすることができ、視認性も上がる。
会長	14ページ目以降については、「概ね10年後のめざす姿」という文言が、青い背景で目につきやすいので、分野名を含めて表記することでよりわかりやすくなると感じた。
会長	イメージ図は重要であるので、事務局にて、今のご意見も踏まえて、検討いただきたい。併せて、「概ね10年後のめざす姿」についても調整いただきたい。

	委員	この13ページの図をホームページに載せると、区民は9つの姿のうち、自分に関連する項目はどれかという視点で見るとと思うので、図の興味のある項目の部分をクリックすると、14ページ以降の説明を見る能够とするようにするなどの操作性の展開もできると良いと思った。
	政策企画課長	最終的に基本構想ができ上がり広くご覧いただく際に、ご提案のようにリンクを設定し、誘導することも可能だと思っている。示し方は、最終的に皆さんのご意見を踏まえ、会長にも相談させていただきながら、決定したい。
	会長	本日のご意見は、事務局に記録していただき、今後、できるだけ反映するようにするが、中間答申の段階では全体像としては大きく変更せず、区長に提出、パブリックコメントで提示することとし、今後、新年度以降の審議会、あるいは起草委員会において、よりよいものをめざして、改善していくことしたいが、よろしいか。 (異議なし)
		それでは、中間答申案の確認は以上とし、これをもって中間答申とさせていただき、後ほど区長に提出する。14時頃、区長がお見えになるので、今から約10分間休憩し、14時から再開する。 (休憩)
	政策企画課長	それでは、基本構想審議会を再開させていただく。内藤会長から坂本区長に中間答申をお渡しいただく。なお、広聴広報課の職員が写真撮影をさせていただくので、ご了承いただきたい。 (会長から区長へ中間答申を提出) 中間答申にあたって会長から一言、頂戴する。
	会長	お忙しい中お越しいただき、感謝申し上げる。本日で、基本構想審議会9回目を迎える、中間答申がようやくまとまった。毎回、各委員からいろいろな意見が出され、いろいろな議論ができたと思っている。何よりも、基本構想は10年という長きにわたるものであり、これまでの継続や継承も重要だが、激動の時代に、10年先に様々なことが変わっていくことを見据えながら議論してきた。我々がまとめた方向性を区民の方々に広く知ってもらい、理解してもらうため、どのように見せるかを重視し、細かい表記などにも気を配った。また、今後、区民参加や協働が重要なテーマとなると思うので、その辺りも合わせて活かしていただきたい。
		また、最終的に区としてどのように活かしていただくかが非常に重要であるので、4月以降も続くこの審議会にて、最終答申に向けてさらに議論を深めながら、最終答申の段階では、どのように活かしていただきたいかも含め、さらにプラスアップしていきたい。
	政策企画課長	ぜひ、区長にも中間答申ではあるが、じっくりとお目通しいただきたい。 続いて、坂本区長よりごあいさつ申し上げる。
	区長	委員の皆さんにおかれましては、日中だけでなく、夜間の時間も割いていただき、家庭や仕事にも支障があったと思うが、大変お忙しい中、板橋区基本構想の中間答申

政策企画課長

会長

をまとめさせていただいた。皆さまの努力に対し、深く敬意と感謝を申し上げる。

8月2日に諮問させていただいた以来、9回にわたる審議会を経て、熱心かつ活発なご議論を重ねていただいたことに、改めて感謝申し上げたい。皆さまにご議論いただいた基本構想は、基本理念や将来像など、区の長期的な指針を定めるものであり、行政だけではなく、区民の皆さまをはじめ、あらゆる主体の方々に共有されるべきものでなければならないと考えている。審議会においても、「区民にとって、わかりやすい内容にすべき」というご意見や、「区民に届く情報発信の必要性」などについての意見があったと伺っており、大変重要な視点だと感じている。

次期基本構想の将来像は、「未来をひらく 緑と文化のかがやくまち“板橋”」を掲げていると聞いているが、これまでの「未来をはぐくむ」から、予測困難な時代においても新たな未来を切り拓き、発展していくという強い意志を込められた大変素晴らしい内容になっていると感じている。

また、令和14年には、区制施行100周年という大変大きな節目を迎えることも視野に入れながら、持続可能な板橋区の実現に向けた道筋を示していただいたことに、深く敬意を表す。中間答申の作成にあたっては、学識経験者の委員の皆さまに、起草委員会の設置をしていただき、専門的な知見から、たくさんの助言を賜り、また、審議会の委員の皆さまからも、たくさんのご意見を頂戴しながら、こうして1つの中間答申がまとめ上げられていく過程には、内藤会長様をはじめ、大変なご苦労があったと思う。改めて皆さまに感謝申し上げる。

この後、広く区民の皆様からパブリックコメントなどでご意見をいただかず外、区議会の皆さまをはじめ、多くの方々からのご意見に耳を傾けながら、本年秋の最終答申に向け、引き続きご審議をお願いしたい。区においても、本日の中間答申を受け、基本構想の実現に向けて、次期基本計画・実施計画を策定すべく、並行して、取組を進めていきたい。

委員の皆さまには大変お忙しい中、恐縮であるが、引き続きお力添えいただきたく、改めてお願ひ申し上げ、本日のお礼の言葉にさせていただく。これからもよろしくお願ひする。

2 その他

それでは、事務局から事務連絡をさせていただく。次回の審議会は、6月24日火曜日を予定している。年度が変わるので、団体によっては会長の互選等々もあると思うが、そちらの調整と併せて、日程を改めて周知をさせていただくので、引き続きよろしくお願ひする。最後に会長から閉会のごあいさつを頂戴したい。

昨年の8月2日から約8か月間にわたり、本当に長期間、皆さまご議論いただき、感謝申し上げる。先ほども申し上げたが、中間答申を今後どう活かしていくかを含め、最終答申に向けて、さらに議論を深めて参りたい。また、パブリックコメント等々による区民のご意見を活かしつつ、一方で、我々としてこういう意図でまとめたと区民に納得してもらう工夫も必要となる。

	4月以降、メンバーが変わる可能性があるので、本日は1つの区切りとなるが、今後4回予定されている審議会で、さらに議論を深め、最終答申ではさらにブラッシュアップされたものを区長にお渡しできるよう頑張っていきたい。 閉会
所管課	政策経営部政策企画課総合計画係 (電話3579-2013)